

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	露語第二		
英文授業科目名	Elementary Russian II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三浦 清美		
居室	東1-508		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
ロシア語初級文法における基本事項の習得

【前もって履修しておくべき科目】
露語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
選択露語第一、選択露語第二

【教科書等】

教科書：米重文樹『生きたロシア語入門（第2版）』（白水社）

辞書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）

【授業内容とその進め方】

よく知られているように、ロシア語はアルファベットが西ヨーロッパの言語と異なります。このために、とっつきにくいというイメージがあるかもしれませんが、この点はあまり心配は要らないと思います。語順が自由な点など、むしろ英語に較べると日本語に近い点も多く、親しみがわくのではないかと思います。何と云っても、新しい言語を学ぶことは、眼前にまったく新しい世界が開けることです！

英語が嫌いだった諸君にも、ロシア語を学ぶことは新鮮な驚きをあたえてくれるで

しょう。外国語とってもあまり構えすぎると、負担になり続かなくなりますから、あ

る一つの言いまわしを別の言い方で言ってやろう！と思うくらいゆきましょう。

第1・2週 動詞変化と名詞の格の概念に関する復習

第3・4週 前置格、 動詞

電気通信大学 平成20年度シラバス

第5・6週 過去時称、生格

第7・8週 対格、活動体、与格

第9・10週 未来形、造格

第11週 人称代名詞・形容詞の格変化

第12・13週 動詞の体

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：試験の成績80%、平常点（小テストを含む）20%

(b) 最低基準：1．ロシア語のアルファベットがよどみなく読めること。2．格の概念を理解していること。3．動詞変化のシステム（時称）を理解していること

【オフィスアワー：授業相談】

事前にメールなどでアポイントメントを取り、来室すること。

基本的に、火曜日14：30－16：00は確実に在室予定。

【学生へのメッセージ】

積極的に声を出そう。出席重視。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】